

## 藻類養殖情報（令和4年1月号）

令和4年1月13日発行  
大阪府立環境農林水産総合研究所  
水産技術センター

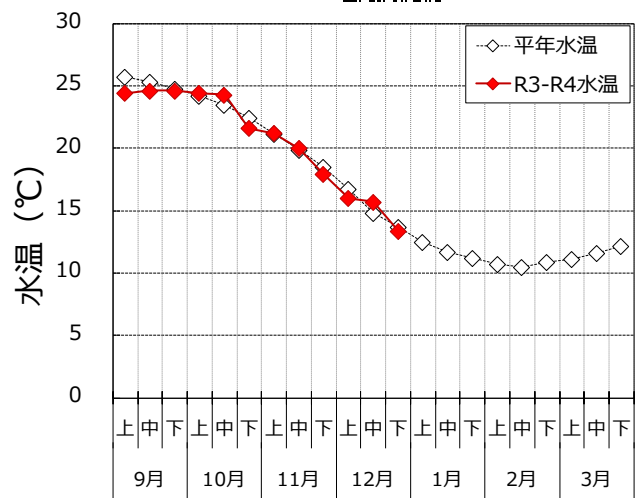
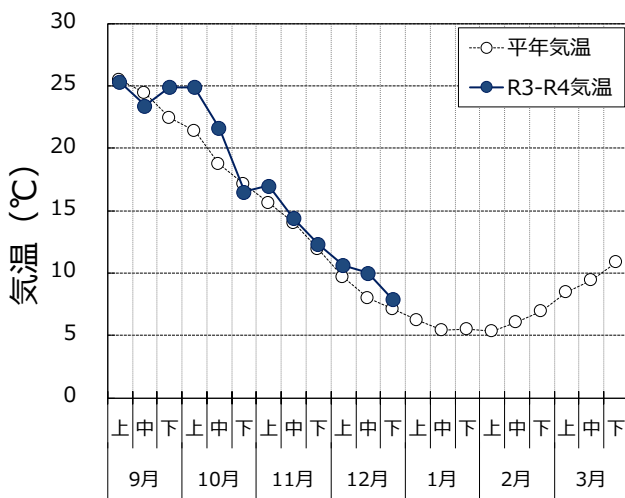
### ○漁場環境

- ・気温（谷川）：12月は月を通して平年と比べおおむね0.8-2℃高めに推移しました。
- ・水温（谷川）：12月は上下を繰り返しながらも月を通しておおむね平年並みに降温しました。

下記の水産技術センターホームページでも水温情報を毎日更新しておりますのでご利用下さい。

携帯電話でご利用の方は右のQRコードを読み取ってください。

URL：<http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/suisan/gijutsu/suion/index.html>



旬別水温・気温の推移（谷川地先9時）（平年値はH23～R2年度の平均）

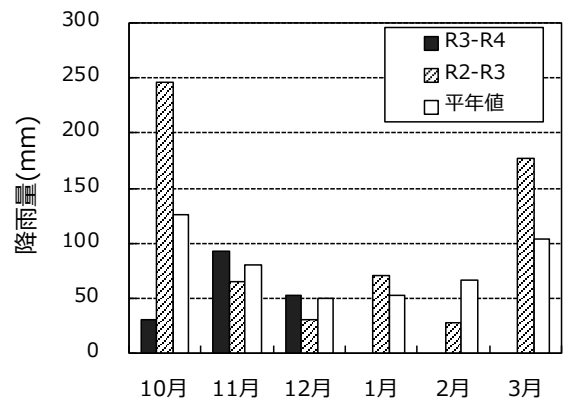
- ・降水量（谷川）：12月の降水量は52.5mmとなり、おおむね平年並みとなりました。しかしながら、12月下旬には風の強い日はありましたが、まとまった降雨がない日が続きました。

### ・今後の気温降水量予測（気象庁季節予報）

1月8日～2月7日の期間中には、平年と比べ晴れの日が少なく、降水量が平年並みか多い確率が高いと予報されています。気温は1月中旬まではおおむね平年並みか高めに推移すると予報されています。季節予報の詳細につきましては右のQRコードもしくは下記のURLから気象庁ホームページをご確認ください。



URL：[https://www.jma.go.jp/bosai/season/#area\\_type=offices&area\\_code=270000&term=1month](https://www.jma.go.jp/bosai/season/#area_type=offices&area_code=270000&term=1month)



降水量（谷川地先）  
（平年値はS47～H27年度の平均）

## ○漁場水質調査結果（1月5日採水）

- ・塩分：塩分は30.74～32.46でした。
- ・リン：各地区のリン濃度は0.53～1.09 $\mu\text{mol/l}$ で、いずれの地区においてもノリ・ワカメの生育には十分な濃度がありました。
- ・窒素：各地区の濃度は5.70～19.18 $\mu\text{mol/l}$ となり、谷川地区では5.78～5.70 $\mu\text{mol/l}$ とノリの色落ち警戒濃度を下回っていますが、ワカメの生育には十分な濃度があります。また、田尻から下荘の各地区ではノリ・ワカメの生育に十分な濃度があります。

	ワカメ	ノリ
リン ( $\mu\text{mol/l}$ )	0.1	0.5
窒素 ( $\mu\text{mol/l}$ )	2	10

藻類色落ち警戒栄養塩濃度  
(この数値を下回ると色落ちの可能性あり)

※青字はノリの色落ち警戒濃度以下、赤字はワカメの色落ち警戒濃度以下

漁場	田尻	岡田浦	尾崎*	西鳥取*	下荘	谷川 (地先)	谷川 (豊国崎)
塩分 (psu)	31.15	30.74	31.48	31.51	31.88	32.25	32.46
リン ( $\mu\text{mol/l}$ )	0.53	0.82	1.09	0.84	0.70	0.58	0.56
窒素 ( $\mu\text{mol/l}$ )	11.95	19.18	15.62	12.57	10.53	5.78	5.70

\*尾崎・西鳥取地区にはノリ漁場があります。

## ○赤潮発生状況

1月6・8日の海洋観測では大阪湾内に赤潮の発生は確認されませんでした。最近の大阪湾内の赤潮発生状況については下記の水産技術センターホームページに掲載しておりますのでご参照下さい。

URL : <http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/suisan/gijutsu/akashio/akashio/sokuho.html>



## ○養殖状況（1月5日）

ノリ：西鳥取・尾崎両地区ともに、年末の時化の影響や若干の珪藻の発生がみられたものの、年明けからは順調に生育しています。年明け以降本格的な摘採が始まります。

ワカメ：各地区で概ね順調に生育しており、一部漁場では50cm程度にまで生長し、生ワカメでの出荷が始まっています。谷川地区でも1月中旬以降に本養殖が開始される見込みです。

## ○病害異常

今のところ病害異常はありません。

ノリ：藻体の状態を確認し、天気予報に注意しながら摘採スケジュールを検討してください。

ワカメ：水温・栄養塩とも問題ありません。葉体の生長を待ちましょう。

※ノリ・ワカメの異常が疑われる際には、水産技術センターへ葉体を持参して頂ければ、随時検査します。